大会名称: **高松宮記念杯　第50回全日本実業団バスケットボール選手権大会**

開催場所: **大阪市中央体育館メインアリーナ　Bコート**

試合区分: **No. 81　女子　　決勝**

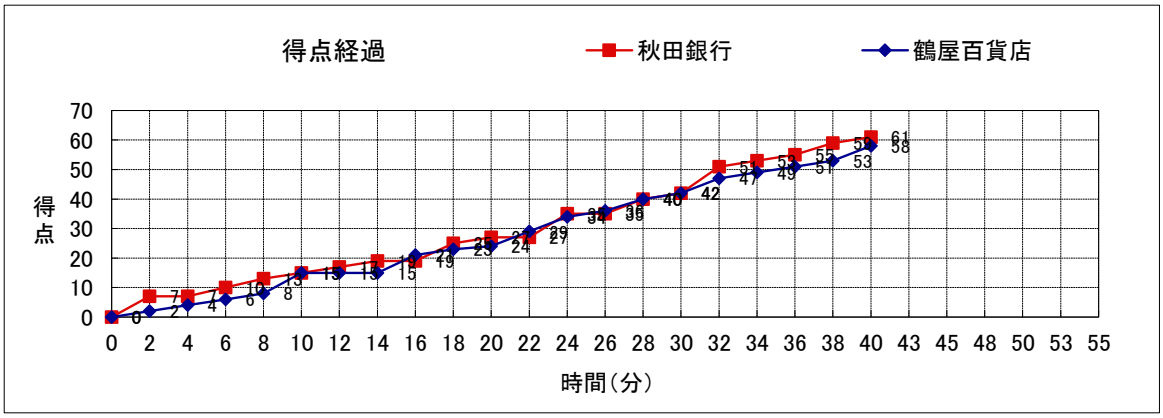
期　　日: **2018(H30)年2月13日 (火)**　　主審: **北沢　あや子**

開始時間: **11:40**　　副審: **尾形　美樹 :村田　尚美**

秋田銀行 (東北1)	○ 61	15 — 15 12 — 8 15 — 19 19 — 16 — — —	● 58	鶴屋百貨店 (九州1)

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	成田 麻沙美	4	0	2	0	2	4		簑田 小百合	–	–	–	–	–
5	*	矢上 若菜	9	1	3	0	3	5		後藤 夏実	–	–	–	–	–
6		鈴木 友佳子	–	–	–	–	–	6	*	野尻 絢那	12	0	4	4	5
7		小松 恵	0	0	0	0	2	7	*	成松 祐里	4	0	2	0	2
8		阿部 優美香	–	–	–	–	–	8	*	田中 愛巳	4	0	2	0	4
9		橋田 幸華	0	0	0	0	0	9	*	落合 千里	22	1	7	5	2
10		柏 詩乃	–	–	–	–	–	10		西村 かおり	2	0	1	0	3
11	*	加藤 千夏	14	0	5	4	2	11		上野 綾菜	–	–	–	–	–
12		加藤 三津子	–	–	–	–	–	12		松岡 和泉	–	–	–	–	–
13	*	伊藤 美和子	24	1	7	7	3	13	*	米村 知紗	8	0	4	0	3
14	*	星 希望	4	0	1	2	4	14		村木 花奈	–	–	–	–	–
15		浅利 愛	–	–	–	–	–	15		松本 恵理奈	6	0	3	0	1
16		柴田 知恵	–	–	–	–	–	16		園田 美宇	–	–	–	–	–
17		高橋 芙由子	4	0	2	0	0								
18		小林 彩花	2	0	1	0	2								
コーチ		小笠原 真人 / TEAM						コーチ		鹿毛 美智子 / TEAM					
		合計	61	2	21	13	18			合計	58	1	23	9	20

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール

最多優勝(ここまで9回)を誇り連覇を狙う秋田銀行と、最多連続出場(ここまで22年連続)を誇り昨年の準決勝のリベンジをもくろむ鶴屋百貨店の対戦。
1P
秋田銀行#4,5,11,13,14、鶴屋百貨店#6,7,8,9,10でゲーム開始。秋田銀行はハイピックからの2メンゲームでインサイドを、鶴屋百貨店は#9が起点となりドライブからの得点を重ねるも、お互い激しいマンツーマンディフェンスを持ち味としておりゲーム早々からなかなかシュートが入らない。常に先手をとる秋田銀行がリードしつつつも、一進一退の攻防が続く。ピリオド終盤に鶴屋百貨店#13米村、#15松本の連続シュートが決まり、15-15で1P終了。
2P
開始早々、鶴屋百貨店#6野尻がオフェンスファールを宣せられるが、そこから両チームとも重い時間帯となり残り4分49秒このピリオド最初のシュートが鶴屋百貨店に入る。しかし、両チームともディフェンスが固くなかなか連続してシュートが入らない。残り4分、秋田銀行が前半最初のタイムアウトを請求する。タイムアウト明けに秋田銀行#13伊藤のドライブイン、#5矢上のリバウンドからのシュートで突き放しにかかるが、対する鶴屋百貨店も、#9落合のドライブイン、#10西村のジャンプシュートで離されずについていく。秋田銀行のインサイド陣の踏ん張りによって、27-23の秋田銀行4点リードで2P終了。
3P
開始から鶴屋百貨店、#6野尻、#8田中、#9落合の3連続得点で、試合をひっくり返したところで、秋田銀行がたまらずタイムアウト。タイムアウト明け、秋田銀行#11加藤のインサイドプレーにてフリースローを含む8連続得点を記録し再度逆転する。そこから、秋田銀行#11加藤、#13伊藤、鶴屋百貨店は#9落合、#6野尻が起点となり、得点をお互いに重ねる。残り38.4秒、鶴屋百貨店#6野尻が4つ目のファウルを宣せられるが、ピリオド最初の勢いで押し切った鶴屋百貨店がゲームを振り出しに戻し、42-42で3P終了。
4P
同点で迎えた最終ピリオド。お互いのディフェンスが激しさを増す。激しいディフェンスをかいくぐって、秋田銀行#13伊藤、#5矢上、鶴屋百貨店#9落合、#13米村が得点を重ねる。秋田銀行は、この日冴えわたるハイピックから#17高橋がシュートを決め51-47の4点差が開いたところで鶴屋百貨店が後半最初のタイムアウトを請求。ディフェンスを変化させるも落ち着いたゲーム運びを進める秋田銀行に最大の6点差をつけられる。残り1分32秒鶴屋百貨店#13野尻が痛恨の5ファウルを犯してしまいファウルアウト。残り55.9秒、鶴屋百貨店が最後のタイムアウトを請求。両チームともなかなか入らなかった3ポイントシュートを鶴屋百貨店#9落合が沈め、59-56と3点差まで追い上げが、ディフェンスのプレッシャーを落ち着いてかわす秋田銀行がリードをゆずらず、61-58でゲーム終了。激しいディフェンスと高さを生かしたインサイドで相手を制した秋田銀行が2年連続10回目の優勝で決勝の幕を閉じた。

一般社団法人 日本実業団バスケットボール連盟